

令和2年度第2回滋賀県立病院経営協議会の開催結果について

開催日：令和3年1月5日（書面開催）

議題1. 第四次県立病院中期計画における令和2年度上半期の取組状況について

①BSC フォローアップシートの中間評価

意見

- ・コロナ禍の中、各病院とも努力しておられるが、敢えて意見を述べると、
 - ①総合病院：患者、職員の満足度は高くなっており評価できるが、今後、救急患者の受入、紹介率、逆紹介率を高めて病床利用率を上げ医業収支比率を改善する工夫をしていただきたい。
 - ②小児保健医療センター：紹介率、逆紹介率を高めることによって病床利用率を上げ経常収支比率を高める工夫をしていただきたい。
 - ③精神医療センター：救急の受入、紹介率、逆紹介率を高める工夫をしていただきたい。
- ・適正に評価されている。
- ・令和2年度の上半期の運営状況で新型コロナウイルス感染症対策の取組に記載されている内容を BSC の年間進捗状況に実績としても記載され、BSC の戦略目標等と関連付けられるとわかりやすいのではないかと思う。例えば、総合病院の中間評価フォローアップシートにおいて、目標：あらゆる疾患への対応、主なアクションプラン：あらゆる疾患に対する医療の充実に対して、COVID-19 への対応等の実施状況を記載する必要はないか。
- ・今後、新型コロナウイルスに感染したが入院できず自宅療養を余儀なくされる方が増える可能性や自宅療養中に症状が悪化されるケースもあるので、入院できない方への支援を拡大してもらえると有難い。
- ・経営管理課の内部プロセスの視点（看護師の離職率）について、新型コロナウイルスの影響で看護師に過度の負担がかかって離職が増えている中、離職率を低く抑えて人材を確保されており、評価できると思う。医師や看護師にかかる負担が増加していると思われるため、今後も医療従事者の健康に注意し、離職率を下げながら積極的な採用活動をお願いしたい。
- ・今後も会議や研修、広報などの場面において、Web 形式でのやり取りが増加すると思われる。そのため、常にインターネット環境を整備しておくことや、情報漏えいリスクの観点から、コンピュータウイルス対策等も万全にしておく必要がある。
- ・財務の視点における費用の適正化（削減）において、医薬品の価格交渉だけでなく、新たな医療機器の購入や非接触方式に変更したこと等により不要となった業務がある場合には、当該業務に関するコストの削減も検討していただくと良い。
- ・総合病院の内部プロセスの視点で、遠隔モニタリングを積極的に用いるなど、地域連携を強化されており、素晴らしいと思った。
- ・精神医療センターの顧客の視点について、コロナにより精神的なストレスを抱える方が増えていると思うが、感染防止の観点から、Web システムや SNS を利用した専門相談なども実施されると良いのではないか。
- ・看護師の離職率の低さをアピールし、看護師確保につなげられないか。

質問		
対象	質問内容	回答
総合病院	総合病院の中間評価に関して、学習と成長の視点、戦略目標：人材確保、指標：総看護師数の内容と主なアクションプランの記載内容の関係について教えてほしい。	<p>学習と成長の視点における3つの戦略的目標に対して主なアクションプランとして5つの項目を掲げているものです。</p> <p>業績評価指標との一対一対応に見えてしまう表となっているので、今後は記載の工夫を行いたいと考えています。</p>
3病院共通	コロナ禍における各病院のベッドコントロールについて、受入制限により入院できない方々への自宅療養の支援としては、どういったことをされているか。	<p>【総合病院】</p> <p>コロナ病床確保のために入院が必要であるにもかかわらず自宅で療養いただくということはありません。処置や検査、薬物療法などのうち比較的风险の低いものは出来るだけ外来で行ったり、症状が安定した方を他院に転院していただくなどにより病床を確保しています。</p> <p>【小児保健医療センター】</p> <p>手術の延期などを一時期実施していましたが、現在は、受入制限は行っていません。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>コロナ陽性かつ精神症状で措置入院等が必要な患者については、精神医療センター等で入院となるため、自宅療養は想定されていません。</p>
経営管理課	経営管理課の財務の視点において、医薬品の購入を令和3年度から一般競争入札に変更される理由を教えてください。	<p>厳しい経営状況、薬価引き下げによる値引率の低下等から医薬品の業者選定のあり方を検討する中で、より競争性を担保し、経営改善につなげるべく変更することとしました。</p>
3病院共通 経営管理課	コロナ禍で急速に非接触方式やWeb等を用いた業務の導入が行われてきているが、病院経営においては、主にどのような業務の変化があったか。	<p>各病院において電話による診療を実施しています。また、ビデオ通話アプリの活用等により、会議や研修会がWeb開催となるなどの変化があったほか、マイナンバーカードによるオンライン資格確認対応に向けて準備を進めています。</p> <p>病院経営においては、民間療養施設や大阪府への看護師派遣など、人材の確保がこれまで以上に重要な課題となったことから、県立病院間での応援体制の構築などにより、コロナ対応と通常診療の両立を図ることが最重要課題の一つとなりました。</p>

総合病院	COVID-19の影響で湖南地域の救急搬送が減少するのか。	湖南広域消防局から頂いているデータを見ると令和2年1～12月は前年比で83.8%となっています。当院への搬送についても同様に減少しています。
総合病院	職員必須研修率の実績を知りたい。	感染防止対策の講演会(上半期)実施分の参加率は99.7%です。 医療安全講演会は上半期には実施していません。現在、講演会を実施中であるため期末評価時に参加率を提示させていただきます。
小児 C	重症患児数、年間受入件数、新規入院患者数ともに減少している理由は何か。	全て入院に関する指標であり、重症患児にあつては外出控えで容態が安定しており、また、レスパイト需要も減退したことで、入院件数が減少しています。さらに、手術の延期や不急の入院を抑制したことで、新規入院患者数が大きく減少しています。
精神 C	救急、緊急診療の受入件数が少ないのは空床が確保できていないのか。断っているなら、その患者のその後はどうなっているのか。思春期延べ患者数が下回っているのは良いことだが、その現状と理由は何か。	当センターは県の精神科救急医療システムで当番病院支援の役割を担っており、当番病院に空床がない場合に当センターに受入要請があり、総数はこの要請に起因するところが大きくなっています。当センターでは、救急入院に備え空床の確保維持に努め、また救急患者は個室対応が多く個室確保を図るため個室の増床工事を行ったところであります。 思春期外来で中心となり診療されていた医師が退職されたこともあり、外来診療については限られた医師で対応しています。今後も中高生・発達障害・摂食障害を中心に外来患者への対応に取り組むため、医師の確保、学校・地域支援機関との連携の推進を図ります。

②令和2年度上半期の運営状況

意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19があるため、評価できない。 ・ 新型コロナウイルス感染症対応に関して、総合病院では感染病床の設置や増床、検査センター開設等、その対応のための職員教育や看護職をはじめとする人材配置等大変なご苦労があったこととお察しし、感謝申し上げます。 ・ 既に実施されているが、コロナ患者が入院している病床と一般患者の入院している病床を明確に分けていたり、清掃を徹底していたりすることをより詳しくアピールすることにより、患者さんは安心して病院に来ることができ、外来患者の減少を抑えることに繋がれると思う。追加された対策等があればホームページに掲載されると分かりやすい。 ・ PCR検査の需要は今後も増えていくと思うので、収益確保の観点からも、実施件数を増やせる体制にしておかれるのが良いのではないかと。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で患者数等減少し経営も厳しい状況と察する。新型コロナウイルス感染症患者に対応している医療従事者へエールを贈るとともに、大阪府への看護師派遣の御礼を申し上げたい。 ・ 新型コロナの影響が大きいことが、文面からも、特に数値からも読み取れた。今のあいだに、間接的な業務プロセスを見直すなどし、より働きやすく各々の力が発揮できるような組織を目指してほしい。 ・ 文中の「育児休業からの復職」「院内保育園」「育短勤務」「WEB会議」「遠隔モニタリング」などの文言が目に残った。新たな技術やシステムの導入、新たな生活様式、より良い働き方の実現などの意識が文字として明記され残ることで再確認され良いと思う。女性に限らずすべてのスタッフに関わることでと考える。 ・ 1年に及ぶ COVID-19の影響下での病院、医療職、事務職の実態をまとめ、次につないでほしい。 ・ 通院患者、入院患者のコロナ禍での不安に対して病院はどのように向き合ってきたかを知りたい。 ・ コロナ禍という状況下で経営がどのような影響を受けたかを分析する必要がある。 ・ 前年度だけでなく数年単位で経緯がわかるような工夫、グラフなどでの表記があるとより評価しやすいと思う。 	

質問		
対象	質問内容	回答
総合病院 精神 C	<p>テレビ滋賀プラス1で滋賀県立総合病院の新型コロナウイルス感染症への対応について拝見した。感染症指定病院ではないものの、コロナ患者を受入れるために既存の病床をコロナ患者用に適切に整備して様々な対応をしておられ、県民として感謝している。総合病院では40床程度まで対応可能とのことだが、コロナ患者の増加に伴い、さらに病床の追加もされていく（或いは既にされている）可能性もあると思う。そのような中で、各病院において、コロナ患者が入院している病床は一般の患者が入院している病床とどのように分けられているか教えていただきたい。病棟が</p>	<p>【総合病院】 総合病院では、一つの病棟をコロナ専用病棟に転用しています。感染症指定医療機関のような特別な設備が無いため、病棟内をパーテーションなどによりゾーニングし、入り口やエレベータも従来業務用として使用していたものを当該病棟専用で転用しています。</p> <p>【精神医療センター】 コロナ患者病床(2床)を含む感染エリアは、建物1階の端部分でゾーニングを行い非感染エリアと区分しています。</p> <p>また、コロナ患者入室は、一般患者と交わらないよう、病室に近い外へ通じたドアから通って最</p>

	違うのか。また、入院時の入口も分けられているのか。	短経路で入室する動線としています。
3病院共通	新型コロナウイルスに関する検査関係の収入は上半期でいくらくらいあったか。	<p>【総合病院】</p> <p>次のとおりです。</p> <p>PCR 検査 809 件 13,828,500 円(5 月から実施)</p> <p>抗原検査 44 件 26,400 円(8 月から実施)</p> <p>【小児保健医療センター】</p> <p>PCR 検査 1,386,000 円(77 人)</p> <p>抗原定性検査 90,000 円(15 人)</p> <p>計 1,476,000 円の収入となりました。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>該当がありません。</p>
総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院の収支の状況において、その他の収入が前年度上半期及び予算よりも多くなっているが、コロナ関係の助成金などが含まれているのか。 ・令和2年度上半期の運営状況における収支状況で、総合病院の「その他収益」が増収になっている。コロナ関係の補助金等か。 	<p>コロナ病床確保補助金として、令和2年9月までに8.2億円の交付を受けています。</p> <p>また、県からの一般会計負担金を前倒しで受けている(9月末時点前年度同期比3.9億円増)ことも影響しているものと考えられます。</p>
3病院共通	コロナ患者受入等に伴う設備導入費用は、上半期でどれくらい発生したか。また、収支の状況においては、当該費用は減価償却費として「その他経費」に含まれているのか。	<p>【総合病院】</p> <p>設備や備品でおよそ2億円程度になると見込まれます。なお、減価償却は次年度からとなるため、「その他の経費」には含まれていません。</p> <p>【小児保健医療センター】</p> <p>備品整備に3,044,800円で令和3年度から減価償却費として費用計上します。</p> <p>病院用空気清浄器 1台</p> <p>(簡易陰圧装置) 2,200,000円</p> <p>HEPA フィルター付き空気清浄機 3セット</p> <p>(クリーンパーテーション) 844,800円</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>上半期の設備導入費用は、生体情報モニター等2,745千円でした。</p> <p>当該費用は、資本的収支予算に計上しています。なお、当該費用にかかる減価償却費は次年度から計上することとなります。</p>
3病院共通 経営管理課	新型コロナウイルス感染症における対応で医療従事者等への慰労はされているのか。	知事をはじめ地域の皆さんや子どもさん方からの励ましのお声や寄贈品なども寄せていただきま

		<p>した。</p> <p>加えて、病院長から職員に対して、謝意や慰労とともに全員が一致協力して乗り越えていくよう呼びかけやメッセージ、庁長をはじめとする病院事業庁幹部からは、会議の場や各現場において激励をしています。</p> <p>また、特別休暇や特殊勤務手当の制度整備を行ったほか、国の慰労金制度に基づき、医療従事者等にはひとり 20 万円（総合病院）または 5 万円（小児保健医療センター・精神医療センター）の支給を行いました。</p>
3 病院共通	入院患者様家族への感染対策はどのようにしているのか。	<p>【総合病院】</p> <p>コロナ専用病棟入院中は、ご家族も面会は出来ません。現在すべての病棟で、基本的には着替え等の荷物も専用入り口でスタッフが受け取るなど、患者さんと接触されないよう徹底しています。</p> <p>【小児保健医療センター】</p> <p>面会時間を 1 時間に制限し、患者ごとに特定の 1 人による 30 分以内での面会とし、入院前 2 週間の健康観察票を提出いただき、病棟での新型コロナウイルス感染予防を行っています。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>家族等による面会は医師が認める場合を除き、原則禁止としています。また、手指消毒など基本となる感染防止対策の徹底をお願いしています。</p>

議題 2. 小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備について

意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・医学、医療の進歩発展により今後重症新生児や患児の救命、治療の充実、社会復帰が更に重要になってくると考えられる。 ・患児にやさしく高度医療が提供可能な施設を適正価格で一体的な整備を進めているのは評価できる。 ・今回の COVID-19 のようなこともあり安易に公立病院の病床を減らすべきでない。無駄をできるだけ沢山つくっておくことが有事には役に立つ。 ・既存の総合病院と一体で運営することは、効率的でよいと思う。運営には十分に検討いただきたい。 ・基本方針や基本設計のコンセプト、基本設計内容を見せていただいた。少子化の中、病気や障害を抱える子ども達やその家族の笑顔と安心につながるよう整備されていくことを期待している。 ・建設予定地に埋蔵文化財が確認されたことについて、今後、設計変更や発掘調査関係の追加の費用及び期間が必要になる可能性があると思われる。新型コロナウイルスの影響もあることを鑑みると、1年の延期ですむか分からないと考えられるため、当初の予定よりも遅くなる供用開始日までの間の収入を安定させる方法も併せて検討しておく必要がある。 ・新型コロナウイルス対策で現在行われているような接触を減らす設計（自動ドアのタッチスイッチやエレベータのボタン、トイレの洗浄ボタンなどを非接触タイプにするなど）や効率的に喚起できる設計も取り入れられるのが望ましい。 ・基本設計のコンセプト「③医療・福祉・教育が一体となった機能的な拠点の創出」が大切にされることを期待している。 ・今現在の最高の建物・スペース・機材になるかと思うが、あまり作りこまず変化していく未来にフレキシブルに対応できるよう“空白・あそび”を見立てた上での整備を期待している。 ・放射線治療棟との間に中庭があるが、たやすく出入ができるように工夫して欲しい。植物で患者や家族の心は癒される。 		
質問		
対象	質問内容	回答
経営管理課	総合病院と一体化する方向であるが、手術室は別々か。	総合病院の手術室の稼働状況や使用する器材が異なること、また患者の病棟への移動距離を短くする必要があることから新たに整備する小児保健医療センターに手術室を設置します。
経営管理課	新型コロナウイルス対策で現在行われているような接触を減らす設計は取り入れているか。	現在は基本設計をとりまとめたところですが、患者等が使用する手洗器・トイレの自動水栓化やセンサー感知式の自動扉を採用する見込みです。 加えて、設計期間を延長して実施している感染症対策に係る検証結果を踏まえ、今後の実施設計へ反映していきます。

議題3. 第五次県立病院中期計画の策定状況について

意見
<ul style="list-style-type: none">・超高齢人口減少多死社会における今後の医療提供体制について、地域医療構想、働き方改革を踏まえ、県の三次中核病院としての使命を果たすべく第五次県立病院中期計画を立てていただきたい。また、新興感染症に対する役割も示していただきたい。・COVID-19に鑑み、抜本的に施策の考えを改めるべき。欠員、空床を可及的につくって余裕のある運営が不可避である。1にも2にも無駄をつくる必要があるのではないか。・新型コロナウイルスの終息の目途が立っていないことで、将来の経営状態の予測が難しいと思うが、目標が高すぎても低すぎても医師や看護師等のモチベーションに影響が出ると思われる。皆さんのコンセンサスを得られるような目標を設定することが望ましい。
質問
特になし